



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月5日

上場取引所 東

上場会社名 クックパッド株式会社

コード番号 2193 URL <http://info.cookpad.com/>

代表者 (役職名) 代表執行役

(氏名) 稲田 誉輝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役

(氏名) 菅間 淳

TEL 03-6368-1000

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	4,668	—	1,854	—	1,856	—	1,052	—
26年4月期第2四半期	3,072	—	1,630	—	1,596	—	990	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 1,091百万円 (—%) 26年4月期第2四半期 990百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	31.82	31.42
26年4月期第2四半期	30.05	29.59

のれん償却前営業利益・・・26年12月期第2四半期 2,082百万円(—%)、26年4月期第2四半期 1,630百万円(—%)

「のれん償却前営業利益」の定義については、四半期決算短信2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

(注) 当社は平成26年4月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成していますが、みなし取得日を平成26年4月期第2四半期連結会計期間末とし、平成26年4月期第2四半期は貸借対照表のみを連結しているため、対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	10,683	—	8,640	—	79.8	—
26年4月期	9,648	—	7,943	—	82.0	—

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 8,523百万円 26年4月期 7,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年12月期の期末配当は未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成26年12月31日)

当社は、平成26年7月24日に開催しました定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたため、平成26年度より決算期を4月30日から12月31日に変更することになりました。そのため、決算期変更の経過期間となる平成26年度は平成26年5月1日から平成26年12月31日までの8ヶ月決算となります。平成26年12月期の連結業績予想については、売上高と営業利益は平成25年5月1日から平成25年12月31日までの累計金額を上回ると見込んでいます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(注) 特定子会社の異動には該当ませんが、セレクトチャー株式会社ほか1社を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	33,086,800 株	26年4月期	33,074,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	1,208 株	26年4月期	1,208 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	33,079,807 株	26年4月期2Q	32,950,162 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成していますが、みなし取得日を前第2四半期連結会計期間末とし、前第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

① 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間（2014年5月1日～2014年10月31日）の業績は、

売上高	4,668百万円
のれん償却前営業利益	2,082百万円
営業利益	1,854百万円
経常利益	1,856百万円
四半期純利益	1,052百万円

となりました。

なお、のれん償却前営業利益は、会計上の営業利益に、買収及び事業譲受により生じたのれん償却額228百万円を足し戻したものです。

当第2四半期連結累計期間の業績に関する特記事項は以下のとおりです。

- イ. 売上高は4,668百万円となりました。会員事業において、プレミアム会員数が順調に増加しました。また、広告事業においてはスマートフォン広告が伸長しました。
- ロ. 販売費及び一般管理費は人件費を中心に増加し、2,574百万円となりました。
- ハ. 営業利益は1,854百万円となりました。なお、のれん償却前営業利益は2,082百万円となりました。

② 運営サービスの状況

「クックパッド」ののべ月間利用者数は順調に推移し、2014年10月時点で5,033万人（前年同月比27.1%増）となりました。当サービスは日常の生活導線上で利用されているため、日常生活の多様なシーンでインターネットの利用が可能なスマートフォンとの相性が非常に良く、特にスマートフォン（タブレットにおけるアプリ利用者を含む）からの利用者が順調に増加し、3,220万人（前年同月比45.1%増）となりました。今後も多様化するデバイスに適応したサービスの展開に注力していきます。また、レシピ数も堅調に増加しており、2014年10月末には累計投稿レシピ数が180万品を超えました。

レシピサービスの世界展開については、前連結会計年度において英語のレシピサービス「allthecoooks」、スペイン語のレシピサービス「Mis Recetas」、及びインドネシア語圏のレシピサービス「Dapur Masak」を取得し、クックパッドブランドへの統一を含めたサービス開発に注力し、利用者数の拡大を目指してきました。さらに、当第2四半期連結会計期間において、アラビア語のレシピサービス「Shahiya」を取得することについて、基本合意書を締結し、2014年11月12日に株式譲渡契約を締結しました。今後も世界中の人々に向けて世界各国の料理を楽しむにレシピサービスを提供するべく、世界展開をさらに加速させていきます。

また、国内においては、レシピの投稿・検索にとどまらず、食に関連するあらゆるシーンで利用される食のインフラへとサービスを進化させるべく、新規事業の拡大に注力しています。

当第2四半期連結会計期間においては、「子育て支援」分野におけるサービスを拡充しました。「クックパッド」の主な利用者は20～40代女性で、そのうち子どものいる利用者は約5割（2014年6月に実施した株式会社インテージによる調査結果より）となっています。そのため、小さな子どものいる方々に対して、子育てを応援するサービスを提供していきたいと考えています。そのひとつとして、「クックパッド」において、離乳食に関する日頃の課題を解決するサービスである「ベビー&ママ」をリリースしました。さらに、幼児向け知育アプリ「なりきり！！ごっこランド」を取得しました。当該サービスは子どもが大好きな「なりきり」「ごっこ」遊びを通して、インタラクティブに「社会のしくみ」を学べる、職業疑似体験アプリです。

今後も引き続き、新規事業の拡大により一層注力していきます。

③ セグメントの業績

セグメントの業績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

事業別	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年5月1日 至 2014年10月31日)
インターネット・メディア事業	4,397
会員事業	2,470
広告事業	1,692
その他	234
EC事業	270
合計	4,668

イ. インターネット・メディア事業

当第2四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上高は、4,397百万円、営業利益は1,839百万円となりました。

(会員事業)

当第2四半期連結累計期間における会員事業の売上高は、2,470百万円となりました。プレミアムサービスへの入会につながる導線の改善及び携帯電話の販売店を通じたアフィリエイトを中心としたプロモーションを実施した結果、プレミアム会員数は順調に増加しました。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たな有料サービス「プロのレシピ」をリリースしました。当該サービスは、13社の出版社と提携し、1万品以上の雑誌や料理本のレシピを月額360円(税抜)で閲覧することができるサービスです。従来の「クックパッド」には掲載されていなかった料理の専門家によるレシピを閲覧することができ、利用者に対して新しい価値を提供できるサービスであると考えています。

今後もさらなる新規サービスの追加やその認知向上によって、プレミアム会員数の拡大を目指していきます。

(広告事業)

当第2四半期連結累計期間における広告事業の売上高は、1,692百万円となりました。前第3四半期連結会計期間より売上に寄与し始めたスマートフォン広告が順調に増加し、当第2四半期連結累計期間におけるスマートフォン広告の売上は666百万円となりました。今後もPC及びスマートフォンの両方において広く商品の認知を獲得できる広告商品の中核に据え、事業を成長させていきます。

ロ. EC事業

当第2四半期連結会計期間に連結子会社化したセレクトチャー株式会社は、衣料、キッチン用品及び雑貨を扱うオンラインショップ「アンジェ」を運営しています。売上高は270百万円、営業利益は15百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,034百万円増加し、10,683百万円となりました。このうち、流動資産は同137百万円増加し、6,420百万円となり、固定資産は同897百万円増加し、4,263百万円となりました。

これらの増加の主な要因は、流動資産については、収益性の上昇による売掛金の増加によるものであり、固定資産の増加については、投資その他の資産の投資有価証券の取得により増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、2,042百万円となりました。この主な要因は、資産除去債務を計上したことにより、固定負債が前連結会計年度末に比べ135百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ697百万円増加し、8,640百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が559百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末より524百万円減少し、4,166百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、941百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,855百万円を計上した一方で、法人税等の支払額843百万円が生じたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,062百万円となりました。この主な要因は、関係会社株式の取得による支出212百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出249百万円、投資有価証券の取得による支出310百万円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、408百万円となりました。この主な要因は、配当による支払い396百万円が生じたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2014年7月24日に開催しました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたため、2014年度より決算期を4月30日から12月31日に変更することになりました。そのため、決算期変更の経過期間となる2014年度は2014年5月1日から2014年12月31日までの8ヶ月決算となります。2014年12月期の連結業績予想については、売上高と営業利益は2013年5月1日から2013年12月31日までの累計金額を上回ると見込んでいます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、セレクチュア株式会社の株式を取得し連結子会社化したことに伴い、新たにEC事業に進出しました。これにより、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しています。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりです。また、ほか1社を連結の範囲に含め、合計2社を新たに連結の範囲に含めています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,691,335	4,166,776
受取手形及び売掛金	1,343,918	1,790,879
たな卸資産	—	165,705
その他	250,644	301,291
貸倒引当金	△3,028	△4,403
流動資産合計	6,282,869	6,420,249
固定資産		
有形固定資産	36,966	396,426
無形固定資産		
のれん	2,541,980	2,621,011
その他	63,621	111,174
無形固定資産合計	2,605,602	2,732,186
投資その他の資産	723,360	1,134,600
固定資産合計	3,365,929	4,263,213
資産合計	9,648,798	10,683,463
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,708	140,794
未払金	678,841	677,411
未払法人税等	846,556	796,002
その他	146,102	280,427
流動負債合計	1,693,208	1,894,635
固定負債		
長期借入金	12,092	12,092
資産除去債務	—	135,903
固定負債合計	12,092	147,995
負債合計	1,705,300	2,042,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,425	877,081
資本剰余金	870,850	876,506
利益剰余金	6,182,035	6,741,709
自己株式	△1,185	△1,185
株主資本合計	7,923,124	8,494,112
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,366	29,055
その他の包括利益累計額合計	△6,366	29,055
新株予約権	26,740	61,668
少数株主持分	—	55,994
純資産合計	7,943,498	8,640,832
負債純資産合計	9,648,798	10,683,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年5月1日 至 2014年10月31日)
売上高	3,072,757	4,668,544
売上原価	35,558	239,467
売上総利益	3,037,199	4,429,077
販売費及び一般管理費	1,406,754	2,574,481
営業利益	1,630,444	1,854,595
営業外収益		
受取利息	4,746	246
その他	2,431	2,461
営業外収益合計	7,177	2,707
営業外費用		
支払利息	—	69
為替差損	—	584
投資損失引当金繰入額	40,680	—
その他	50	4
営業外費用合計	40,730	658
経常利益	1,596,891	1,856,645
特別利益		
固定資産売却益	—	546
新株予約権戻入益	13,248	—
その他	—	5
特別利益合計	13,248	551
特別損失		
固定資産除売却損	461	1,335
関係会社株式評価損	2,688	—
特別損失合計	3,150	1,335
税金等調整前四半期純利益	1,606,989	1,855,861
法人税、住民税及び事業税	562,140	780,482
法人税等調整額	54,449	19,504
法人税等合計	616,589	799,986
少数株主損益調整前四半期純利益	990,399	1,055,875
少数株主利益	—	3,000
四半期純利益	990,399	1,052,874

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年5月1日 至 2014年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	990,399	1,055,875
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	35,422
その他の包括利益合計	—	35,422
四半期包括利益	990,399	1,091,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	990,399	1,088,296
少数株主に係る四半期包括利益	—	3,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年5月1日 至 2014年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,606,989	1,855,861
減価償却費	10,039	25,470
株式報酬費用	—	5,278
のれん償却額	—	228,202
貸倒引当金の増減額(△は減少)	196	692
投資損失引当金の増減額(△は減少)	40,680	—
受取利息及び受取配当金	△4,746	△246
支払利息	—	69
為替差損益(△は益)	△1,305	△2,070
固定資産除売却損益(△は益)	461	788
新株予約権戻入益	△13,248	—
関係会社株式評価損	2,688	—
売上債権の増減額(△は増加)	△69,162	△371,314
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,176	66,074
その他の資産の増減額(△は増加)	14,840	△16,527
その他の負債の増減額(△は減少)	△36,738	△7,821
小計	1,547,520	1,784,458
利息及び配当金の受取額	15,184	246
利息の支払額	—	△69
法人税等の支払額	△768,009	△843,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,695	941,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△8,560	△238,362
無形固定資産の取得による支出	△400	△53,498
関係会社株式の取得による支出	△143,407	△212,707
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△971,806	△249,644
投資有価証券の取得による支出	—	△310,873
差入保証金の差入による支出	—	△1,142
その他	△321	3,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	375,504	△1,062,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△45,000
長期借入金の返済による支出	—	△7,400
株式の発行による収入	28,790	8,870
配当金の支払額	△164,417	△396,883
新株予約権の発行による収入	—	32,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,627	△408,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,305	39,828
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,035,877	△490,060
現金及び現金同等物の期首残高	4,167,841	4,691,335
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	13,933
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△48,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,203,719	4,166,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2014年5月1日 至 2014年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インターネット ・メディア事業	EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,397,791	270,752	4,668,544	—	4,668,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,397,791	270,752	4,668,544	—	4,668,544
セグメント利益	1,839,068	15,527	1,854,595	—	1,854,595

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

「EC事業」セグメントにおいて、セレクチュアー株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じています。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、342,033千円です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに「EC事業」を追加しています。これは、同事業を行うセレクチュアー株式会社の株式を2014年8月1日に取得し連結子会社としたことによるものです。

(重要な後発事象)

1. 子会社による事業の譲受け

当社は、2014年10月15日に株式会社アイフリークモバイルが有する事業を譲り受ける旨の事業譲渡契約を締結し、当社が100%出資して新規設立した株式会社キッズスターは、2014年11月4日に当該事業の譲り受けを完了しました。

(1) 事業譲受けの目的

当社は、「子育て支援」分野におけるサービスを拡充するため、幼児向け知育アプリ「なりきり！！ごっこランド」の事業譲受けを決定しました。

(2) 譲り受ける相手会社の名称

株式会社アイフリークモバイル

(3) 譲り受ける事業の内容

「なりきり！！ごっこランド」を中心とした知育アプリ部門

(4) 譲り受ける資産・負債の額 (2014年8月31日現在)

(単位：百万円)

資産	
項目	帳簿価額
仕掛品	2
ソフトウェア	8
ソフトウェア仮勘定	3
合計	14

(5) 譲受けの時期

2014年11月4日

(6) 譲受けの対価

80百万円

2. 孫会社の設立及び孫会社による株式の取得

当社は、当社子会社であるDapur Masak PTE. LTD. (シンガポール)がレバノンにおいて子会社(当社の孫会社)を設立し、当該設立予定の孫会社がNetsila S.A.L. (レバノン)の株式を取得し曾孫会社化する株式譲渡契約をNetsila S.A.L. の株主との間で締結しました。

(1) 株式取得の理由

当社は、レシピサービスの世界展開を加速させるため、アラビア語のレシピサービス「Shahiya」を運営するNetsila S.A.L.の株式取得を決定しました。

(2) 異動の方法

当社子会社であるDapur Masak PTE. LTD. (シンガポール)が、今後設立予定のCookpad Middle East Holding S.A.L. (予定)の株式の99.9%を保有し、Cookpad Middle East Holding S.A.L. (予定)がNetsila S.A.L. の株式の99.6%を取得する予定です。これにより、Netsila S.A.L. は当社の曾孫会社となる予定です。なお、Cookpad Middle East Holding S.A.L. 及びNetsila S.A.L. の残りの株式は当社グループの会社(当社を含む。)及び各会社の取締役が保有します。

(3) 設立する孫会社の概要(予定)

- | | |
|-------------|--|
| ① 名称 | Cookpad Middle East Holding S.A.L. |
| ② 事業内容 | 子会社等の経営管理及びそれに付帯関連する業務 |
| ③ 資本金 | 13 百万米ドル(約1,393百万円 ※1) |
| ④ 設立年月日 | 2014年12月 |
| ⑤ 大株主及び持株比率 | Dapur Masak PTE. LTD. (当社100%子会社) 99.9% ※2 |

※1 1米ドル=107.18円で換算

※2 レバノン法の定めを遵守するため、Dapur Masak PTE. LTD. 以外に、当社及びCookpad Middle East Holding S.A.L. の取締役1名がそれぞれ1株ずつ保有することとなります。

(4) 異動する曾孫会社(Netsila S.A.L.)の最近3年間の経営成績及び財政状態 ※

(単位：千円)

決算期	2011年12月期	2012年12月期	2013年12月期
純資産	△12,311	△17,663	△46,328
総資産	68,319	112,650	78,652
売上高	2,606	19,878	44,391
営業利益	△8,066	△3,894	△28,539
経常利益	△9,663	△5,352	△28,665
当期純利益	△9,663	△5,352	△28,665
1株当たり配当金	—	—	—

※ 当該会社の数値を1レバノンポンド=0.07円で換算

(5) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0.0%)
② 取得株式数	996株 (議決権の数：996個)
③ 取得価額	取得価額は、アーンアウト方式により、13百万米ドル(約1,393百万円 ※1)及びNetsila S.A.L.の将来の業績達成度合いに応じて確定する追加代金の合計額となります。追加代金は株式譲渡契約締結日から2年以内に確定し、最大0.5百万米ドル(約53百万円 ※1)となります。
④ 異動後の所有株式数	996株(※2) (議決権の数：996個) (所有割合：99.6%)

※1 1米ドル=107.18円で換算

※2 レバノン法の定めを遵守するため、Cookpad Middle East Holding S.A.L. 以外に、当社グループの会社2社(当社を含む。)及びNetsila S.A.L.の取締役2名がそれぞれ1株ずつ保有することとなります。

(6) 日程

基本合意書締結日	2014年10月30日
株式譲渡契約締結日	2014年11月12日
株式譲渡日	2015年1月(予定)

3. 重要な新株の発行

当社は、2014年10月17日開催の取締役会における決議による委任に基づき、2014年11月12日開催の経営会議において、海外募集による新株式発行に関し、下記のとおり決議し、2014年11月27日に払込を受けています。

2014年11月27日に払込を受けた資金については、事業拡大のための投資資金として、5年程度以内を目途に主に以下の2分野に充当する予定です。

- (1) レシピサービスの世界展開をより一層加速させるため、欧米を中心とした言語圏の拡充及びシェア拡大を企図した買収、出資、事業立ち上げ等、海外レシピサービス事業の拡充資金
- (2) 「クックパッド」をレシピの投稿・検索サービスから「食を中心とした生活インフラ」へと進化させるため、食に関わる領域に限らず食以外の領域にも視野を広げたサービスも含め、新規事業開発に必要な買収、出資、事業立ち上げ等、国内事業の拡充資金

海外募集による新株式発行（一般募集）

①募集方法		公募による新株発行
②募集する株式の種類および数	当社普通株式	2,500,000株
③発行価格(募集価格)	1株につき	3,616円
④発行価格の総額		9,040,000千円
⑤払込金額	1株につき	3,458.8円
⑥払込金額の総額		8,647,000千円
⑦資本組入額の総額		4,323,500千円
⑧払込期日		2014年11月27日